

大会名 Competition	第22回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-114	Year Month Day Time 2009 年 5 月 5 日 13 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館



チームA		チームB	
明	成	延岡学園	
	46 ●	107 ○	
		6 1st 30	
		22 2nd 22	
		8 3rd 25	
		10 4th 30	
		OT	

主審:Referee 片寄 達 宮城県
副審:Umpire 久米 克弥 秋田県

テーブルオフィシャル:Table officials
能代高校

No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	村田 翔		0	0	0	0	5	4	×	横瀬 孝樹	CAP	15	0	3	9	1
5		玉田 駿		-	-	-	-	0	5	×	エリマン プイ		13	0	6	1	0
6	/	畠山 俊樹		3	0	1	1	0	6	×	長谷場 祐二		14	0	6	2	2
7		圓山 慧		-	-	-	-	0	7	×	永吉 佑也		22	0	8	6	1
8	/	須川 陽介		0	0	0	0	0	8	×	川元 崇史		31	7	2	6	1
9	/	木村 聡		2	0	1	0	4	9	/	宇治橋 真悟		2	0	1	0	1
10	×	高田 歳也		14	2	3	2	1	10	/	中小路 拓		6	0	2	2	1
11	/	門田 瑠唯		0	0	0	0	1	11	/	寺原 庸太		0	0	0	0	0
12	/	松澤 大晃		2	0	1	0	2	12	/	石田 慎太郎		2	0	0	2	0
13	×	杉本 健将		0	0	0	0	1	13		善家 耕太郎		-	-	-	-	0
14	×	菊地 大		22	0	10	2	2	14	/	中村 友哉		0	0	0	0	0
15	×	宮澤 耀佑	CAP	0	0	0	0	3	15	/	黒木 亮		0	0	0	0	0
16	/	藤井 祐希		3	1	0	0	4	16	/	岩田 大輝		0	0	0	0	0
17	/	蔦木 大智		0	0	0	0	2	17		寺原 拓史		-	-	-	-	0
18	/	安藤 誓哉		0	0	0	0	1	18	/	岡本 飛竜		2	0	1	0	0
コーチ		佐藤 久夫							コーチ		北郷 純一郎						
Aコーチ		細野 真							Aコーチ		内村 昌弘						
	合 計			46	3	16	5	26	合 計				107	7	29	28	7

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第22回能代カップ、優勝を決定する一戦。第1Q、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタートする。立ち上がり延岡は#6長谷場のジャンプシュート、#5プイのゴール下などで好スタートを切る。一方明成は延岡のディフェンスを崩せず、#10高田のシュートが単発で決まるもののリズムをつかめない。その後も延岡は#8川元の3Pなどで勢いが止まらない。何とかしたい明成であったが、一方的な展開となり、6-30延岡リードで第1Qを終了する。

第2Q、得点差を縮めたい明成は、#10高田#14菊地のドライブなどで加点するが、延岡も#8川元の3P、#6長谷場の速攻などで譲らない。少しずつリズムを取り戻してきた明成は#10高田、#14菊地が意地を見せて追いつがる。しかし、点差はなかなか縮まらず、28-52と延岡リードで前半を折り返す。

第3Q、明成は前半同様マンツーマンディフェンスでスタート。一方延岡は3-2ゾーンディフェンスに変える。延岡のゾーンディフェンスを崩して流れをつかみたい明成は開始早々タイムアウトを取り、ゲームの立て直しを図る。しかし3Pが単発に決まるだけでうまく崩しきれない。対する延岡はドライブや3Pと縦横無尽に攻め込み、明成をたたみかける。36-77と延岡大量リードで第3Q終了。

第4Q、一方的な流れを変えたい明成はメンバーをどんどん入れ替えて巻き返しを狙うが延岡は#7永吉のドライブ、#8川元の3Pなどで着実に加点していく。その後も延岡はゲームの主導権を渡さず明成を引き離す。結局46-107の大差で延岡学園が2連覇を達成した。